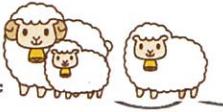


そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 10

2021年12月22日発行



12月の聖句

『神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された。』(ヨハネによる福音書3章16節)

欧洲のクリスマス・カードのデザインに、ヤドリギの赤い実のついた枝葉のものが少なからずあります。大きな木に寄生し、その大きな木は葉を落とし冬の装いを成しても、なお瑞々しく常緑を保つヤドリギに生命力を感じたからでしょう。「永遠のいのち」のシンボルです。

聖誕劇およびクリスマス会において、こどもたちは輝いて演じてきました。園児たちはコロナ禍で過す期間が園での生活の多くを占めているにも関わらず、そのいのちの輝きは失われることはありません。あたかもヤドリギの葉のようです。

クリスマス、おめでとうございます。

各家庭にキリストの平和、よろこびが満ち溢れますように。

(チャプレン 司祭 いけだとおる) THE BIRTH OF JESUS CHRIST



2学期ありがとうございました。たのしい冬を！

先日のクリスマス聖誕劇と祝会、みなさんのご協力で無事に終えることができました。

本当にありがとうございました。職員一同よりお礼申し上げます。

年長さんの聖誕劇の際には、初めて、整理券の順番に席を選んでいただく方式を試してみました。「自分で選べてよかった」「来年も」というご意見と「初めから決まっていても良かった」というご意見と両方頂きました。どちらにしても、「とても見やすかった」という声が多数でホッとしました。少人数だったからだけではなく、実は今年、姉妹園から折り畳み式のステージを譲り受けることができたのです。聖誕劇の日は後ろの客席が高くなるようにステージを置き、祝会の日は子どもたちが演技する場所を高くすることができます。来年、感染状況が落ち着いたら、もう少し長い時間、せめて同じ学年の発表を見て頂けたら、と思っています。

これから冬休みです。子どもにとっては家族が一番。楽しい冬をお過ごしくださいね。

(園長 菊地 和子)

しろくまこぐまぐみ・劇 おべんとうバスのクリスマスパーティ

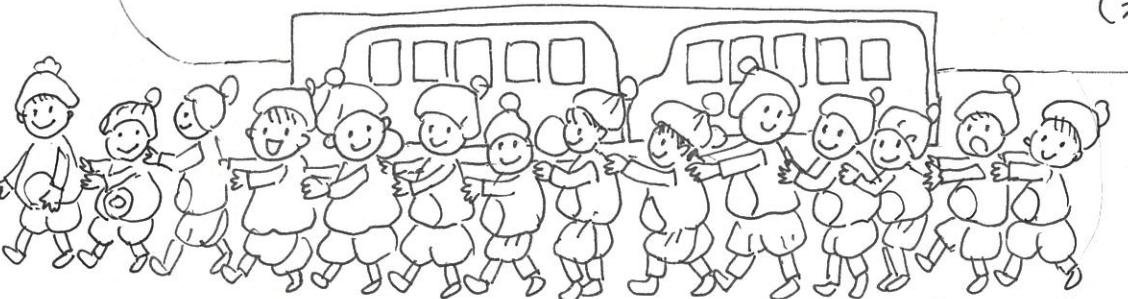
エピソード 1

お部屋で衣装合わせを行った時、それまでニコニコだったお友達が突然悲しい顔になりました。『おべんとうバス』が大好きで、手遊びやリズムもとても上手で楽しそうだったのに、衣装を着たことによって悲しくなってしまうのは、かわいそうなのでどうすれば良いのか先生達で話し合いました。そこで、見せ合いで衣装を着る時に大好きな『あわてんぼうのサンタクロースの曲をかけてみました。すると、楽しい気持ちになり、衣装を着っていても、いつも通り劇を行うことが出来ました。そして、クリスマス会当日も大好きな曲をかけてパッケリ!!でした。

エピソード 2

入園当初は、朝の会でお名前を呼ばれてもお返事が出来なかったお友達が『おべんとうバス』の役名でお名前を呼ばれると、お返事が出来るようになりました。また、手遊びやリズムを全くしなかったお友達が『おべんとうバス』の手遊びや『あわてんぼうのサンタクロース』のリズムをお友達と一緒に楽しく出来るようになりました。

しろくまちゃんこぐまちゃん組のみんなは、『おべんとうバス』が大好きでした。(えみこ先生)



11月に「おべんとうバス」の絵本を読み、どんな役につけたいか、子どもたちに聞いて決めました。人気のある役があり、違う役につけてもいいお友だちはいるか聞くと「す」と考えてから「いいよー」と言ってくれた子がいて、とてもうれしく、『もしゃり成長してくれているね』と感動しました。みんなお返事が上手で、すぐに流れを覚えてくれました。何度も「おべんとうバス」うたないといふと言ってくれたり、「あわてんぼうのサンタクロース踊る?」と聞くと「あどるー!」「もういいかい!」ととても元気満々の様子。

しかし……毎日練習しているわけでもなく、何回もくり返して練習しているわけでもないのですが、だんだんと上手になると同時におひざけするお友だちが!! お友だちが大きづ音で返事をしているとかお友だちとおしゃべりしたり、「はい!」と返事をすると「はーい——」とのばしてみたり、おもしろい声で返事をしたり……お部屋でどうしてか見てきた劇に下るか言話をしたのですが、本当にいい感じでした。

でも、今年のしろくまちゃんこぐまちゃんは、たくさんのお客様にドキドキしながらも

しっかりと自分のやる事をやり、大成功!! あのじゅくはなんだったんだろう……と思いつかいでいた(笑)

幕がしまったあと、笑顔はとってもキラキラしていて素敵でした。(さおり先生)

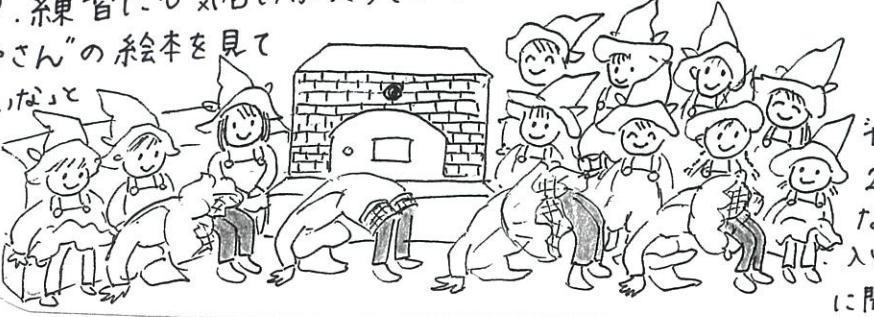
アンケート

- 席の抽選やクラスごとの発表など、先生方は大変な事が多かったと思いますが、保護者としては平等で安心な発表会に出席することができ嬉しかったです！ありがとうございました！！
- リズムにのって最後まで頑張って踊っていた楽しそうな姿を見れて感動しました。出来ない、立っているだけだと思っていたので驚きました。親の偏見で子を見ず、もっと信頼して子と接していくべきと思える会でした。
- 子どもが準備に取り組む様子や、当日頑張っている姿をこの目で見ることができ、親としては感謝と喜びでいっぱいです。来年はこういった関わりがより多くなることを願うばかりです。

チーム
いろこぐ
えみこ先生
さおり先生
なみこ先生
みゆき先生

年少組ぐり 「ぐりとぐらのパンやさん」

劇に向けてのスタートはヒザの壁面制作でした。ある日 ヒザが食べられている!
どんどんヒザが食べられる度に、ぐりとぐらさんから手紙があり、ぐりとぐらさんとどんどん仲良くなっていきました。床に這いつぶつて足跡を探したり、家でお手紙や中帽子を作ってくれる子がいました。毎日ドキドキワクワクでレターや運動会に来たり、クリスマス会もぐりとぐらに変身していい!といったり…。気持ちも強くなり、練習にも気合いが入っていました。自分達でどんな技を披露するか考えたり、大好きな「からすのパンやさん」の絵本を見てこんなパンがあるくらいだと考えたながう絵を描いたりと「自分らしさ」が沢山詰まった劇になりました。



豪りが終わってからは
ぐりとぐらさんからもらったオーデンは
みんな飛び密基地になりました!
またまたぐりとぐらさんとの絆は
深まりそうです☆

年少組ぐら「ぐりとぐらのおいしいクリスマスツリー」

○普段行っているバレシューレやリズムを取り入れ、子どもたちの生き生きした姿が印象的でした。ぐりとぐら

から届くお手紙の事も「階段にあった！」「〇〇ちゃんが見つけた！」とバスから降りると毎日教えてくれていましたよ。〇普段あまりキリスト教に触れる機会がないので、子どもたちがどのような雰囲気でお祈りなどをしているのか実際に感じられていい経験になりました。発表は本当にかわいく、たくさん練習したんだろうなと想像するだけで感動でした。〇本番まで毎日のように家で練習していて、クリスマスツリーに向かってお祈りもしていました。聞き取れない部分があったので、当日お祈り文の紙がもらえて良かったです。

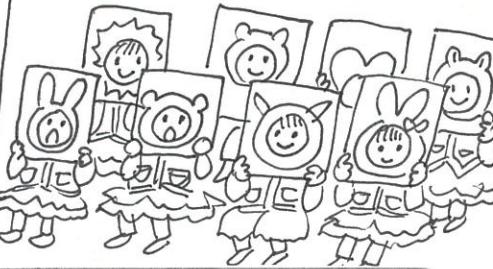
○登場した娘を見て緊張が伝わり、発表が始まると自然とこみ上げるものに変わりました。一人一人の一生懸命が輝いていて愛おしく、感動しました。最後の歌の素晴らしい迫力に、みんながひとつになり、発表が終わつたように見えました。子どもたちからのパワーをたくさんもらい、まだまだ余韻に浸れそうです。

☆チーリー☆あべ先生、えりか先生
ともニ先生、かなニ先生、いの先生

中組こん「ヘンテコクリスマス」



こんなのがみんなへ
くれよんをつかうと
かいたものはなつてしまふが
とくさひいろすれば
もどれるぞ!!
へんてこかいじんより



年少の時から何度も「よんぐ！」と子ども達が大好きな『ヘンテコクレヨン』を題材に劇を作りました。題材を決める時もこん組で話し合い、特技披露も何をしたいかを子ども達が考えてくれました。

背景などの大道具もみんなで作りました。クリスマスツリーの飾りは「わたしサンタ
がれるよ」など飾りのアイディアも出してくれました。

こんとあき組には こんとあきさんから 手紙が届くことがあり、見つけると大喜びで、クリスマス会に向けてのやる気もアップしていましたよ。時には、本番で付けていたチュー・シャもプレゼントで届き 嬉しそうに大切に使っていたみんなです。

練習の時から、真剣に楽しんで活動していたこんさん。本番もみんなで力を合わせて一人ひとりが出来る力を精一杯出してくれました。本番後は「きんちょうしたあ~、こんとあきさんきてかかな」とほほをしていました。昨年と比べてとても成長した姿を見てくれたみんな。私にとってもご家族の方にもとても素敵なクリスマスプレゼントになりましたね♪

(ゆかり先生)

中組あき「クリスマスをとどけよう」

今回の劇は、普段よくお部屋で“読んで”いたみんなが大好きにな
会本を基にした劇ということもあり、練習する前から、歌は完璧
で“してます”たくさん移動がある劇で“この”難かしい所も
あってかと思いますが、お互に“ち同士で”教え合い、助け合
うから一生懸命に取り組んでくれて、とても嬉しかったです。
小道具や背景を子どもたちと一緒に作る中で、子どもたちの
やる気が更にアップしたように感じました。劇中の歌やセリフ、
特技を練習以外にも楽しんで“披露してくれていますよ。
クリスマス会が終わった後もずっと、劇ジンと/or/して
とても楽しんでくれています。みんなの成長をとても感じることが
できました！（みゆ先生）

チにクリスマス会でした！（みゆ先生）

チ-4 こんあき

ゆかり先生・みゆ先生・ちえ先生



無事に開催できとても嬉しいです。本人も頑張る目標を持ち、何日も前から家でも歌の練習していてとてもしみにしていた様子でした。当日緊張していたようですが、ステージに立つと一生懸命大きな声で堂々とセフを言い歌を歌う姿を見るととても感動してしまいました。素晴らしかったです。子どもたちから少し早い高のクリスマスプレゼントを貰えた気がしました。○毎年祝会に向けての仕掛けがすごくて、娘は手紙が来てー！とモチベーションが上がっていました。帰宅後エンドレスに繰り返される歌やせりふを聞いていると、本当に楽しんでいる事が伝わりました。また、子ども同士でお互いの発表を見て、来年は・・と希望を持ってるうです。全体が集まるのが難しい中、工夫して子ども同士の公開の場を設けて頂けて感謝です。

年長・聖誕劇と祝会「サンタクロースはどこだ」ほか

エルマーとりゅう組では、自分たちの役が決まった次の日からさっそくセリフの練習が始まりました。そこで、セリフを覚える前はみんなが見ているセリフの紙に「一度頑張ったらシール一枚！」もしも見ないで言えたらポイント2倍で2枚と裏にシールを貼っていました。ポイントが沢山集まるのを目指して毎日頑張っていたみんなですが、あという間にセリフを覚えてしまい、運動会に引き続きみんなの力に驚かされました。

聖誕劇の本番の日には、お父さんやお母さん、家族の人も沢山来ていつも違う雰囲気で緊張しながらもみんなが今までの力を全力で發揮する事ができただけでないか！という程みんなが輝いていました。

途中、セリフにつまってしまふお友達いても「つきたよ」「〇〇たよ」ヒソヒソとどうにか助けようとする同じ入テージに立っているみんなの姿にも感動しました。

(あかね先生)



聖誕劇の本番に向けみんな一生懸命練習に取り組みました。当日はたくさんのお父さんやお母さんが居る中とっても頑張ってくれました。今回の合言葉は『うれしく、しんげんに!!』でした。長いセリフも毎日練習を重ねてどんどん上手になっていきました。

ホールでの練習は緊張感を持ち36人全員がハビを合わせ取り組んでいました。運動会に続き聖誕劇を終え一休感を感じるところまできました。自信を持って発表してきた子ども達の表情はとてもたくましくまた一つ大きく成長した姿を見ることができました。

保育中に一番緊張した場面を聞きました。「セリフを言うところ」以外に「ホールに入ってくるところ」という子が多くいました。みんなドキドキしながら入場していくと思うと「本当にがんばったね！」とたくさん言葉をかけてあげたのです。

(まつもと先生)

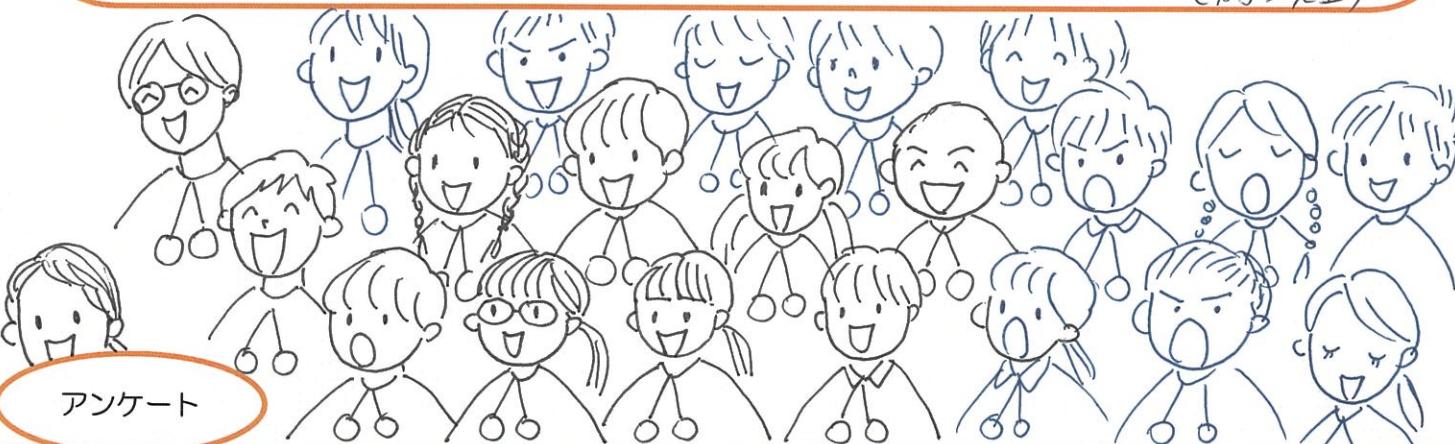
☆チークエリ ゆうじ
あかね先生、まつもと先生
かほニ先生
かおり先生
ひろニ先生

毎年感じることですが、「聖誕劇」はすごいですね。年長さんの心が一つに・・・

初めて、お部屋で聖誕劇の話をした時、「かみさまがイエスさまなの？」「マリヤさんがイエスさまがおかあさんなの？」など最初は「？」がたくさんいた年長でしたが、絵本の読み聞かせをし、劇の練習が始まると、「？」が消えていました。

聖誕劇のセリフは、聖書に書かれている言葉なので、とても難しく、なかなか覚えられないお友だちもいましたが、先生達がいろいろ考えて、先生の前でセリフの練習すると1枚シールがもらえ、暗記するとポイントが2倍となりシールが2枚もらえるというように、楽しみながら意欲的に練習をしてくれていました。

本番が近づくにつれて、セリフの声もだんだん大きくなりクリスマス会当日は、36人の心が一つになって本当に素晴らしい聖誕劇を演じてくれました！！最高でした！感動！感動！
(かほニ先生)



○聖誕劇が歌を交えたものだと全く想像していなかったのでビックリしたのと同時に、大きな声で歌っているお友達にとても感動しました。最初から最後まで自分の子供が出ていない場面でもずっと泣いていました。この小さくてひたむきな姿のまま大きくならないでほしいなと思っていました。

○今年度は1世帯2人で子どもたちが頑張っている様子が見られたことを嬉しく思っています。年少、年中では不安そうな顔をして園へ行っていましたが、今年は「頑張るから楽しみにしていてね！」とバスに乗り込みていき、色々な事に自信が持てるようになりました。当日は年長さんの頼もしい姿とみんなで一つのことを成し遂げる姿に感動しました。整理券など工夫されてこんなに素敵なかいを準備開催して下さった先生方に感謝しています。

○みんな自分の役割をしっかり全うしようと頑張っていて、誰が欠けても完成しない、みんなが主役というのが伝わってきました。実際に直接見ることができ、本当に嬉しかったです。

○舞台では周りの子たちに助けられました。自分たちも緊張しているはずなのに、困っているお友達がいるとみんなすぐに自然に助けようしてくれるところに、子どもたちの体に普段から聖十字で培われた優しさが染み込んでいるのだなと感じました。入園式の時に膝に抱っこされていたみんなの姿を思い出すと、なんて成長したのでしょうか！と、どの子を見ても泣けてきました。子どもたちを信じて、成長させてくれてありがとうございます。

1, 2学期の毎週月曜日の献金とクリスマス献金、そして保護者の皆さんと子どもたちの優しい気持ちをありがとうございました。おおよそ7万円になりました。

日本や世界で困っている子どもたちに届くように、この大事な献金の届け先を決めています。

詳しくは3学期にお知らせいたします。本当にありがとうございました。

